

沖縄の「本土」復帰50年を考える講演会のご案内

今年、沖縄は復帰50年を迎えます。しかし、日本の国土の0.6%しかない沖縄に、日本の米軍専用施設の約70%が集中していることは、皆さんご存じのことと思います。

沖縄の米軍基地は、戦後、沖縄が米軍の統治下に置かれ、住民が収容所に入れられている間に金網で囲って出来上がったものです。さらに、1950年代になると新たに必要とする土地を接収するため、農地や住宅を銃剣とブルドーザーで取り上げ、基地建設を強行。沖縄の住民の人権を蹂躪する事件が日常的に起こったのです。

このような状況を変えようと、沖縄県人会兵庫県本部の先人・先輩は沖縄の闘いに呼応するかのよう、県会会のエネルギーの大半を使い、「平和の島沖縄」を願い、平和憲法下の日本への復帰運動に取り組みました。1967年11月8日、「施政権全面返還」の直訴状を首相官邸に手渡し、官邸前で25名(全国から80名)が24時間のハンガーストライキを決行。1969年11月13日、佐藤首相が訪米して沖縄の「核つき、基地自由使用」を決めようとしたことに対して、兵庫県庁前で会員200名が参加し、8時間のハンストで抗議したのです。

復帰50年の沖縄の現状を見ると、県民所得に占める基地関連収入の割合は、1972年の15.5%に対し、2018年は5%で、沖縄は決して基地に依存しているわけではありません。

辺野古新基地建設では、政府は、埋立て反対という民意を無視し、軟弱地盤で建設不可能という専門家の意見をも聞かず、建設を推し進めています。

復帰50年にあたり、沖縄、日本、そして世界の平和のために、再び戦禍に呑み込まれないためにどうすればいいのか。多くの皆さまと考える場を下記の内容で開催いたします。

多くの皆様の参加を期待しています。

《講演》 施政権の分離と返還－暴力的な支配を正統化する理論と対抗する論理－

講師 島袋 純氏(琉球大学教授)

日時 2022年5月15日(日)14時～16時

会場 尼崎市中央南生涯学習プラザ(旧サンシビック)阪神尼崎徒歩5分

呼びかけ団体 沖縄県人会兵庫県本部

参加協力費 1,000円(高校生以下無料) 連絡 具志堅和男 080-5717-1781

※当日、体温 37.5℃以上の方、体調不良の方は参加を見合わせて下さい。

入館時にも、入口での検温をお願いします。

様

領収証 金1,000円也

沖縄の「本土」復帰50年を考える実行委員会 担当

----- 切り取り線 -----

参加申し込み(1,000円)

名前		支部名	
住所			
電話	自宅	携帯	

賛 同 人
<以下転載不可>

喜納兼一	大城健裕	具志堅和男	比嘉正一	宮城亜輻	渡嘉敷勉
湧田圭子	宇野宜伸	具志堅政克	阿部松雄	宮城和子	河村通男
兼城慶子	下條正隆	中村太蔵	北上昭仁	高江洲勉	大田朝子
千住典男	仲原達雄	綿瀬和人	松上辰之	広畑貞昭	大江和夫
平出正人	山本洋司	北川佳子	小原吉苗	追田敬一	中村登
今西正行	玉城勝太郎	酒井一	西本美砂子	人見メミイ	吉里光男
釘田郁子	棚原里志	内間崇平	匿名 2 名		